

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課

担当課長名：神田 昌幸

事業名	地域高規格道路 <small>おおいたちゅうおう</small> 大分中央幹線道路 都市計画道路 <small>しょうほるさの</small> 庄の原佐野線（元町・下郡工区）	事業区分	街路	事業主体	大分県
起終点	自： <small>おおいたけんおおいたしろくぼうみなまち</small> 大分県大分市六坊南町 至： <small>おおいたけんおおいたしおおあざしもごおり</small> 大分県大分市大字下郡			延長	1.2km
事業概要					
都市計画道路庄の原佐野線は、大分自動車道大分ICと都市計画道路下郡中判田線を結び、アクセス向上により、地域間交流の強化、産業競争力強化等に寄与する延長約6kmの地域高規格道路である。庄の原佐野線（元町・下郡工区）は、地域高規格道路の一部を形成し、アクセス向上を目的とする延長1.2kmにおいて街路整備を行うものである。					
平成20年度事業化	昭和36年度都市計画決定 （平成22年度変更）	平成21年度用地着手	平成24年度工事着手		
全体事業費	140億円	事業進捗率	64%	供用済延長	0km
計画交通量	35,500台／日				
費用対効果分析結果	B/C （事業全体） 1.8 （残事業） 10.3	総費用 （残事業） / （事業全体） 24 / 140億円 （事業費：24 / 139億円） （維持管理費：0.68 / 0.68億円）	総便益 （残事業） / （事業全体） 251 / 251億円 （走行時間短縮便益：185 / 185億円） （走行経費減少便益：47 / 47億円） （交通事故減少便益：20 / 20億円）	基準年 平成27年	
感度分析の結果					
【全体事業】交通量：B/C=1.6~2.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.8~1.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.7~1.8（事業期間 ±20%）					
【残事業】交通量：B/C=9.3~11.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=9.4~11.5（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=9.9~10.3（事業期間 ±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 東九州自動車道 米良ICと大分市中心市街地とのアクセス向上により、大分県南域や宮崎県等との交流人口の増加に寄与 大分市臨海部等に位置する企業群に対して、北部九州方面へアクセスする際の定時性及び迅速性が向上するなど、産業競争力強化に寄与 大分市中心部を取り囲む幹線道路の交差点や大分川渡河部における慢性的な交通渋滞の緩和 					
関係する地方公共団体等の意見					
・滝尾及び明野地区内の各自治会長や市議会議員等で構成される庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会や大分市長等より早期整備の要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
・審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> 庄の原佐野線（大道～上野工区）が平成20年9月23日に開通した。 米良有料道路が平成22年12月1日に無料化した。 東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC）が平成28年4月24日より開通予定と公表された。（H28.2.16公表） 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に事業化、事業進捗率64%、用地進捗率100%（平成27年3月末時点） 今後も、橋梁等を重点的に整備し、早期開通を図る。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査にて出土した重要な遺構を保護するため、道路構造の一部を変更した。 地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き早期開通に向け工事等の事業進捗を図っていく。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査にて出土した重要な遺構を保護するため、道路構造の一部を変更した。 新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

